

# 日本のリハビリテーション施設における神経因性大腸機能障害に対する治療を評価する「MENTOR ツール」の有効性検証研究

著者：乃美昌司、仙石淳、Klaus Krogh、Anton Emmanuel、Albert Bohn Christiansen

## 序文

神経因性大腸機能障害（NBD）は、脊髄損傷（SCI）患者の最大で80%が罹患すると言われている<sup>1</sup>。既に有効性が検証されているNBDスコアは、医療従事者がNBDの重症度を判断するのに役立つが、特定の排便治療の有効性を評価することはできない。そのため、国際的なNBDの専門家グループは、SCI患者に対するNBD治療の有効性を迅速かつ正確に評価するためのツール、「MENTOR ツール」を開発した。「MENTOR ツール（MENTOR=Efficacy of Neurogenic Bowel Treatment on Response）」は、NBDスコア、現在の治療に対する患者の主観的満足度、特別な注意を要する症状の3つの側面から評価するツールである。これら3つの側面から算出された合計スコアより、「信号機」の色を基盤とした3色いずれかの色が提示され、**緑色(Monitor)**は現在の治療が適切であること、**黄色(Discuss)**は治療が効果的でない可能性があるため患者との話し合いが必要であること、**赤色(Act)**は現在の治療を変更する必要があること、をそれぞれ示している。

本試験<sup>2</sup>の目的は、日本の病院と欧州の病院における文化的相違を考慮し、日本のリハビリテーション施設での「MENTOR ツール」の有効性を検証することである。

## 方法

本ツールの有効性を検証することを目的に、兵庫県立リハビリテーション中央病院において、盲検下で前向き観察研究を行った。主要評価項目は、本ツールとNBD治療に関する専門医の評価の一致であった。副次評価項目は、患者におけるツールの理解と使いやすさであった。

## 結果

合計60名の被験者が参加し、60名が質問票に対して回答した。「MENTOR ツール」が示した結果の分布から、大半の患者が治療の変更を検討すべき(45%)か、または治療を変更すべき(30%)結果となった(図1)。**主要評価項目**に関しては、黄色のDiscuss(48%)と赤色のAct(61%)で本ツールの結果と専門医の評価の一致率が低く、緑色のMonitorでは高い一致率(100%)(図2)を示し、全体的な一致率は65%であった(国際的な検証結果では62%<sup>3</sup>)。「MENTOR ツール」における3つの側面の結果は、いずれも治療の変更を推奨することと関連することが示された(図3A、BおよびC)。**副次評価項目**に関しては、質問票への平均所要記入時間は4.1分であり、被験者の97%が容易に記入することができると回答した。

図1 「MENTOR ツール」結果の分布

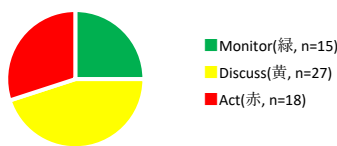


図2 ツールと専門医との一致率の分布

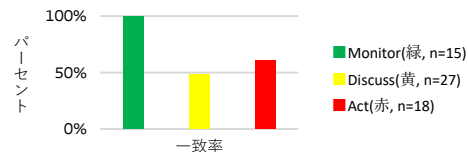


図3A NBDスコア14以上、14以下における治療変更の推奨の割合

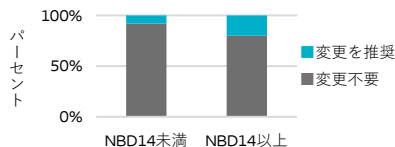


図3B 特別な注意を要する症状(SAS)と治療変更の推奨の比較割合

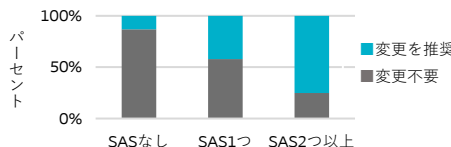
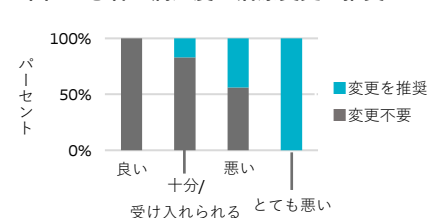


図3C 患者の満足度と治療変更の推奨



## 結論

本検証試験により、「MENTOR ツール」は日本のリハビリテーション施設において臨床的な使用が有効であり、患者は容易に理解して記入ができるということが示された。本ツールは、十分なNBD治療を受けていない多くのSCI患者において、NBDの臨床的判断をサポートする信頼性の高いツールである。

1. Coggrave M, Norton C, Cody JD. Management of faecal incontinence and constipation in adults with central neurological diseases (Review). Cochrane Database of Systematic Reviews 2014, Issue 1. Art. No.: CD002115.
2. Nomi, M., Sengoku, A., Krogh, K., Emmanuel, A., & Christiansen, A. B. (2021). Validation of the Monitoring Efficacy of Neurogenic Bowel Treatment on Response (MENTOR) Tool in a Japanese Rehabilitation Setting. Journal of Clinical Medicine, 10(2), 263
3. Emmanuel A, Krogh K, Kirshblum S, Christensen P, Spinelli M, Kuppevelt D Van, et al. Creation and validation of a new tool for the monitoring efficacy of neurogenic bowel dysfunction treatment on response : the MENTOR tool. Spinal Cord